

実践事例 中学部2年／教科別の指導：数学

『確かめカードを使って深く考え、□分前後の時刻を読んで、九州一周●●制覇ゲームをしよう』

1. 生徒の実態と望む姿

- ・ 中学部2年男子生徒
- ・ ゲーム的な活動や友だちと競い合う活動を好み、自分から取り組む姿が見られる
- ・ 誤答であった場合には、教師の問いかけに対して「わからん、わからん」と言い、混乱したり、考えることを止めた様子が見られる

そこで、本題材では以下の望む姿を設定した。

わからない問題を解くときや誤答であった場合に、確かめカードを活用して深く考え、答えを導き出してほしい

- ・ 本題材では、問題を解き、電車駒を進めながら、九州各県の名産や名所が描かれたカードを手に入れる、『九州一周●●制覇ゲーム』を行うようにした。

2. 授業のポイント

ポイント1 自分から進んで取り組むための教材の工夫



【どのような教材がいいかな？】

- ・ 自分のペースで進められる
- ・ 活動の見通しがもてる
- ・ 個別の指導内容の課題(問題)が設定できる
- ・ できたときの達成感が得られる



県別カードを入れるファイル達成感を得られるようにするために使用

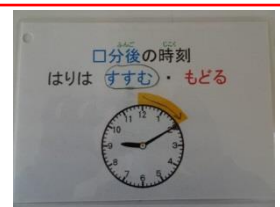
電車の出発時刻を読んで、切符を選び、正解すると次の駅名が示され、電車(駒)を進めることができ、早く九州一周し、各地の名所や名産のカード(県別カード)を手に入れることをめざすゲーム

授業構想チェックシート 意欲チェック 教具の工夫⑨ P.5 参照

ポイント2 深く考えるための教具の工夫

【どのような教具がいいかな？】

- ・ 頭の中で考えたものが『見える化』されるもの
- ・ どのように考えたかを生徒が説明する手助けとなるもの



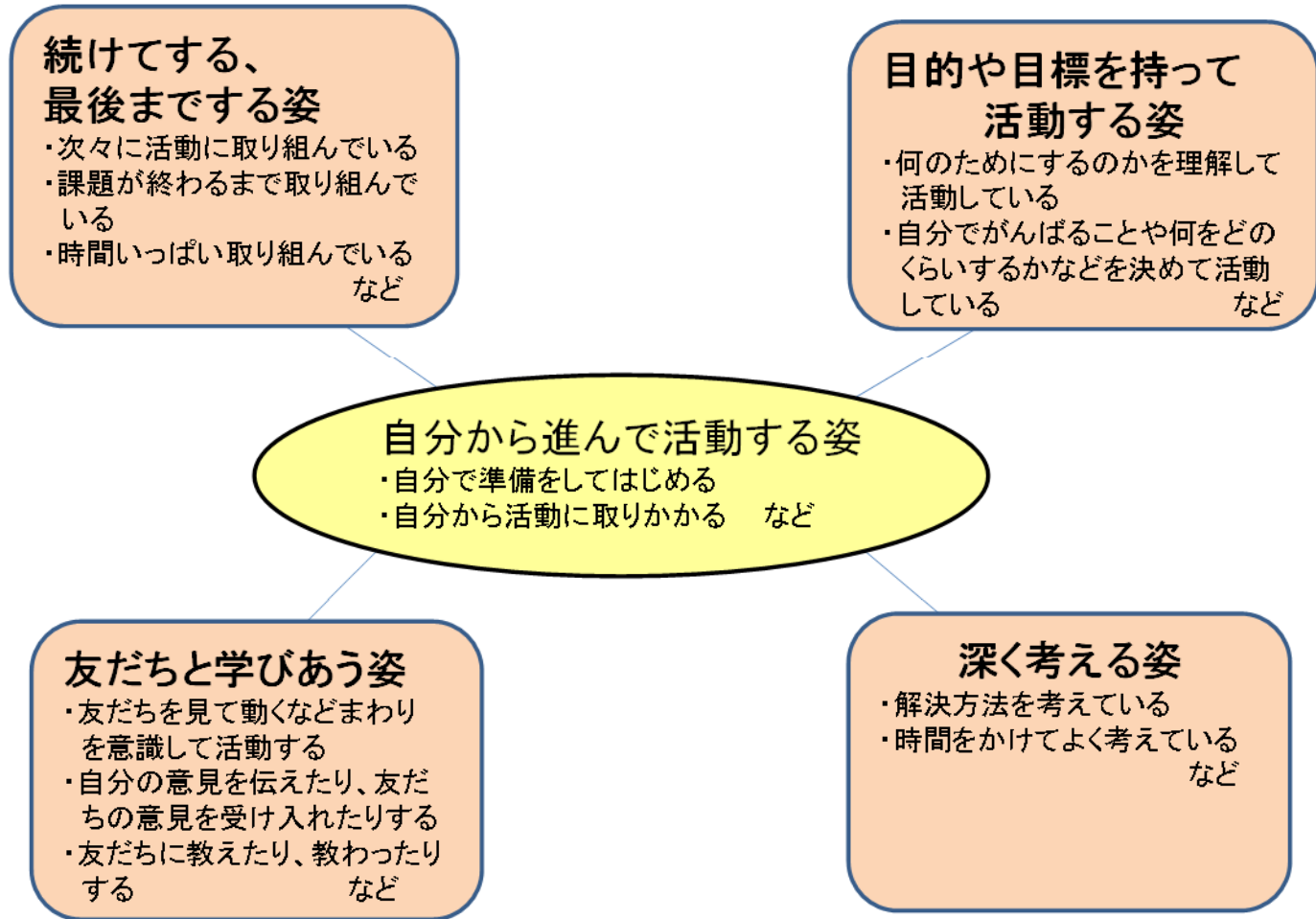
長針の動く向きを自分でセットし、数え始めの位置まで動かすことができる。(矢印の色を手がかりとしている:青は進む、赤は戻る)

長針の動く向きが理解できるようになってきたら、矢印の色を同じにして、長針の向きを自分で判断できるように段階的に変化させていくことができる

長針の動く向きを確認するためのもの (他に、数え始めの位置、短針の示す幅を確認するためのカードも作成)

授業構想チェックシート 意欲チェック 学習活動の工夫⑭⑮⑯ P. 6 参照

児童生徒が意欲的に取り組む姿



自分から進んで活動する姿を基盤にし、
児童生徒一人一人のより意欲的な姿が現れる